

看護部段階別到達目的目標・教育計画（平成27年度）

教育目的

1. 人間としての成長と専門職としての質の高い看護を実践する能力開発を目指す。
2. 研究的視点を持ち各段階に応じた看護実践能力を習得する。

クリニカルリーダー到達目標		教育目標					
リーダーⅣ	<ul style="list-style-type: none"> * 専門性を発揮した創造的な看護が提供できる * 所属における問題解決や目標達成に向けてリーダーシップが発揮できる * あらゆる場面で模範となる行動がとれ、教育的役割を果たすことができる 	院内・院外の教育プログラム(研修会)に積極的に参加し、部署内で活用することができる 自己の研究テーマに取り組むことができる 臨床指導者・臨床講師・役割を果たすことができ、院内研究の企画・運営ができる				院内研修	
リーダーⅢ	<ul style="list-style-type: none"> * エビデンスに基づいた看護が提供でき、看護実践モデルとしての役割が果たせる * 状況を的確に判断し、あらゆる場面でリーダーシップが発揮できる * セクションの目標達成に参画することができる 	院内・院外教育プログラム(研修会)に積極的に参加し、その内容をセクション内に伝達することができる 看護研究に、理論を活用し、自己の看護実践を深めることができる スタッフや看護学生に対して、積極的にかかわることができ、役割モデルになれる プリセプターの役割を担うことができる					
リーダーⅡ	<ul style="list-style-type: none"> * 人間関係を深め、人格を尊重した個別的な看護が提供できる * チームメンバーおよびその日のリーダーの役割を理解し、実践できる * セクションの目標を理解した上で自己の課題を明確にし、自己研鑽できる * 組織の一員として責任ある行動がとれる 	学習課題を明確にし、院内・院外教育プログラム(研修会)に積極的に参加できる 看護実践を通して、ケースレポートをまとめ発表できる 受け持ち患者のことについて、後輩、看護学生の指導ができる				リーダーシップⅡ リスクマネジメントⅢ 看護理論 理論を用いた看護過程の展開 論文作成・発表	院外研修
リーダーⅠ	<ul style="list-style-type: none"> * 指導を受けながら看護技術を安全・安楽に行える * チームメンバーとしての役割が理解できる * 病院・看護部理念が理解できる * 社会人として規律を守り、行動できる 	自己の看護を振り返り、できること・できないことを明確にし、不足部分を学習できる 院内・院外教育プログラム(研修会)およびセクションの学習会に参加できる 日常の看護の中で、疑問や問題意識を持つことができる	コスト 褥瘡予防 リスクⅠ・記録 看護倫理 救急看護 社会人基礎力・多重課題 基本的看護技術 逝去時の対応 ローテーション研修 薬剤管理 新人研修(協会)	リーダーシップ概論 リスクマネジメントⅡ ケースレポート 看護過程の展開	リーダーシップⅢ リーダーシップ実践論文発表	専門看護分野	
期待する能力レベル		リーダーⅠ(1～2年目)	リーダーⅡ(2～3年目)	リーダーⅢ(4～6年目)	リーダーⅣ(7年目以上)		
		実践を行える新人レベル	主体的に日常看護を実践し、チームメンバーの役割を果たすことができるレベル	看護実践モデルとしてリーダーシップを発揮し、後輩を育成できるレベル	看護の専門を追求すると共に、所属の目標達成に貢献するリーダーレベル		